

令和5年度定時評議員会議事録

公益財団法人東京都農林水産振興財団

令和5年度定時評議員会 議事録

- 1 日時 令和5年6月28日(水) 午後3時30分～午後4時40分
- 2 場所 東京都立川市富士見町3丁目8番1号
(公財)東京都農林水産振興財団立川庁舎 講堂
※ Web会議システムによる出席者は、自宅・職場等の各会場から出席
- 3 評議員の現在数 15名
- 4 出席要件 8名
- 5 出席評議員の数及び氏名 8名 青山 侑
橋本 弘山(※)
小暮 実
吉本 昂二
山巻 毅
築田 真由美(※)
矢田部 裕文
三尾 淳(※)
- 6 出席理事の数及び氏名 2名 岩瀬 和春(理事長)
村上 ゆり子
- 7 出席監事の数及び氏名 2名 大森 淳子
傳田 純

※は、Web会議システムによる出席
- 8 議長 山巻 毅
- 9 議事録署名人 小暮 実
矢田部 裕文

10 議題

報告事項 令和4年度事業の報告について

決議事項 第1号議案 令和4年度決算の承認について

11 会議の概要

(1) 開会

進行役を務める阿部管理課長が、評議員会の開会を宣言した。

(2) 評議員等の紹介

管理課長が、出席評議員及び新任幹部職員を紹介した。

(3) 定足数報告

議事に先立ち、管理課長が出席状況を述べ、定款第23条に定める定足数を満たしていることから、本評議員会が成立していることを報告した。

(4) 開会挨拶

開催にあたり、岩瀬理事長が以下のとおり挨拶を述べた。

(岩瀬理事長)

本日は出席いただき、ありがとうございます。評議員会の開会に当たり、挨拶申し上げます。

ウクライナ情勢の長期化等によるエネルギーや原材料価格の上昇は、生産者、事業者、消費者の経営や生活に大きな影響を及ぼし、特に生産者や事業者にとっては、生産物や商品への価格転嫁等に課題も多く、経営の悪化が懸念されています。

また、5月の新型コロナ対策の5類移行は、サービス業やインバウンドの急激な回復を促した一方で、深刻な人材不足を招き、賃金アップを行うことが難しい部門では、人材の確保に強い不安を抱いています。

しかし、人の移動により社会経済活動が回り出し、各地で制限の無いイベントが開催されるなど、閉塞感から抜け出す明るい兆しが見えてきています。財団でも4月に、青梅庁舎にて「春の家畜ふれあいデー」を4年ぶりにリアル形式で開催し、久しぶりに親子で楽しむ姿を伺い見ることができました。

こうした中、当財団では社会経済情勢の変化に迅速かつ弾力的に対応するため、東京都や関係団体と連携し、東京の農林水産振興に向けた着実な事業推進と、それを実現するための体制づくりに、積極的に取り組んでまいります。

本日の評議員会では、昨年度の事業報告と決算についてご審議いただきます。また、報告事項としまして、農業分野より、チャレンジ農業支援事業における事業考課の調査結果について、林業分野より、多摩産材利用拡大事業の取組実績について、試験研究分野より、生産者がハウス等を監視するためにWi-Fi通信を設置・利用する際の手引きについて、それぞれ報告いたしますので、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

(5) 議長の選任及び議事録署名人の選出

定款第 22 条の規定に基づき、出席した評議員の互選による議長の推薦を求めたところ、「事務局一任」の声があった。事務局として山巻評議員に依頼したところ、山巻評議員が承諾し、議長に就いた。

続いて、定款第 27 条第 2 項の規定に基づき、議長の他に 2 名、議事録署名人の選出を問うたところ、「議長一任」の声があり、議長は小暮評議員、矢田部評議員を指名し、両評議員が承諾した。

(6) 報告事項 令和 4 年度事業の報告について

議長は理事長に対し、報告事項について説明を求め、渡辺事務局長が配布資料に基づき、説明を行った。

続いて、議長が評議員に対し、質問及び意見を求めたところ、以下の質疑応答があった。

(青山評議員)

令和 4 年度についても、多岐に渡る事業を財団が着実に実施されていることが伝わり、心強く感じた。事業報告書の内容について、まったく異議はない。

いま、東京の農林水産業は、原材料価格やエネルギー価格の高騰により、次世代へ継承していくための内部留保を積むことができず、とても厳しい状況にある。戦後の農林水産業が発展していく中で、都道府県立の試験研究機関が果たしてきた役割は非常に大きく、財団が積み重ねてきた技術を中心とするノウハウは、事業者にとって大変貴重なものであるので、今後も精力的な普及に努めていただきたい。

また、山間部や島しょ部のような小さな自治体では、定数条例を下回り、職員数が不足しているケースも少なくない。こうした町村からすれば、財団はとても心強い存在なので、助けを求められる機会も多いと思うが、引き続き、積極的に指導いただけると大変ありがたい。

(岩瀬理事長)

東京都農林総合研究センターの歴史は古く、120 年以上存続してきましたが、昨今、IT の技術や AI、人口知能等、技術革新が進む中で、こうした新しい技術についても積極的に取り入れ、いかに現場へ還元していくかという実践を怠ってはいけなないと考えております。これまでの歴史に胡坐をかくことなく、引き続き、取り組んでまいり所存です。

また、財団においても職員採用については、世の中の影響を受けておりますが、積極的な採用活用によって必要な人員を確保していくとともに、既存職員に対する人材育成を積極的に行い、組織として、東京都や区市町村の役に立てるようスキルアップを図ってまいります。

さらに意見及び質問を求めたところ、他に質疑等はなく、報告のとおり了承された。

(7) 決議事項 第 1 号議案 令和 4 年度決算の承認について

議長は理事長に対し、第1号議案について説明を求め、事務局長が配布資料に基づき、説明を行った。

次に、議長が監事に対し、監事監査の結果について報告を求め、傳田監事が「監査報告書」を基に、事業報告、計算書類及び附属明細書並びに財産目録等が適切に処理されている旨を報告した。

続いて、議長が評議員に対し、質問及び意見を求めたところ、質疑等はなく、承認について挙手を求めたところ、全員より挙手があり、第1号議案は原案のとおり承認された。

以上をもち、決議事項に対する審議を終了した。

審議終了後、議長が評議員に対し、本日の議事全般について質問及び意見を求めたところ、他に質疑等はなく、議長は本日の評議員会への協力に感謝を述べ、議長を降りた。

(8) 閉会

閉会の前に、最近の財団の動きとして、遠藤農業支援課長よりチャレンジ農業支援事業における事業考課の調査結果について、石城森の事業課長より多摩産材利用拡大事業の取組実績について、宮崎スマート農業推進室長より生産者がハウス等を監視するためにWi-Fi通信を設置・利用する際の手引きについて、それぞれ配布資料に基づき説明した。

事務局からの報告及び財団運営全般について質問及び意見を求めたところ、質疑等はなく、管理課長が評議員会の閉会を宣言した。

以上、相違ないので、記名、捺印する。

令和5年6月29日

議 長 山 卷 毅

議事録署名人 小 暮 実

議事録署名人 矢田部 裕文